

2016年3月29日

南海電気鉄道株式会社

取締役社長 遠北 光彦 殿

日本共産党

大阪府委員会委員長 山口 勝利
大阪府青年学生委員会責任者 わたなべ結
和歌山県委員会委員長 下角 力
和歌山県平和・くらし委員長 坂口多美子
国会議員団近畿ブロック事務所

南海各線と駅の利便・安全性をもとめる要望書

住民生活に欠かせない公共交通機関として、日々ご尽力いただいていることに心から敬意を表します。無人駅が増大するなかで住民のみなさんから、日本共産党に対して安全性や利便性ついて、様々な不安、要望が寄せられています。

以下要望しますので住民の声を真摯に受け止め、前向きに検討していただきますようお願いいたします。

要望趣旨

近年、全国的に高齢化、人口減少などを理由にして、無人駅が増大しています。国土交通省の調べでは、2012年度末で全国鉄道駅9482駅のうち、4335駅、50%弱が終日無人駅となっています。貴社は、大阪府内75駅、和歌山県内25駅の合計100駅があるうち、大阪府内25駅、和歌山県内8駅が終日無人駅です。一部時間帯無人駅を含めると50%以上になっています。

住民にとって日常生活に必要な交通手段の確保は、公共交通をになう事業者の社会的な責任でもあります。国は、「地域公共交通の維持、改善は交通分野の課題解決にとどまらず、町づくり、観光、さらには、健康、福祉、教育、環境などの様々な分野で大きな効果をもたらす」（国土交通省地域公共交通活性化再生法の一部改正パンフより）として、国、地方自治体と鉄道事業者が一体となって、安全性と利便性を強化することを求めています。

また、貴社は「『社会への貢献』『お客さま第一』を企業理念とし、社会の信頼に応え、お客さまへの最良のサービスを提供するために安全を最優先として取り組んでいます」（NANKAI CSR報告書2014）と強調されています。しかし、無人駅の増大によって「ベビーカーが赤ちゃんごとドアに挟まれ、100メートルあまり引きずられ、母親が軽傷を負う」（高野線萩原天神駅）「構内踏切を、遮断機をくぐって渡ろうとして高校生が亡くなった」（南海線二色浜駅）など命にかかわる危険や、「女性ひとりでホームで待つのが怖い」（美加の台駅）「酔っ払いに絡まれた」など、防犯上の問題もうまれています。無人化は、バリアフリー化に逆行するばかりではなく、高齢者・障がい者などにとっては、新たなバリアをつくることとなります。また「利便性が

悪くなり利用客が減り町づくりに大きな影響が出る」（高野線九度山駅）などの問題も起きています

貴社は、「無人化の明確な基準はなく、『乗降客の状況を参考の上、総合的に判断』（大阪民主新報1月31日付）とされていますが、乗降客が8000人以上の駅（沢ノ町、我孫子前、浅香山）で無人化をされているのは、近畿の鉄道会社の中で貴社のみです。有人駅の新今宮駅は、近隣の無人駅でトラブルが発生した際、対応することになっています。新今宮駅は、対象の無人駅の乗降客を合計すると87,000人にもなります。その他の有人駅でも同様の計算をすると1万人から8万人となります（日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所調べ）。これで本当に安全が確保できると言えるのでしょうか。公共交通機関として、利用者の安全と利便性を最優先にされるよう、以下の諸点を要望します。

要望事項

一、無人駅の解消を。

- ①無人化は命の危険を伴うなど安全性が損なわれ、利便性も後退し、町づくりに大きな影をもたらしています。無人駅は解消してください。
- ②乗降客数や人口や観光客の増大で乗降客が増大している駅については、時間帯や観光客の増大時など、実態に合わせて駅員を配置してください。
- ③乗降客数千人を超える駅の有人化をすすめてください。

二、バリアフリーの完全実施を。

- ①国土交通省は、「平成32年度を目標に「『3000人以上』の駅を、原則としてバリアフリー化する」とともに、「『3000人未満』の駅についても利用者のみならず、利用実態を踏まえ、可能な限り実施」（バリアフリー基本方針）としています。すでにバリアフリー化された駅でも改善を求められる実態があります。地域の要望や実態を踏まえてスロープの改善、エレベーターの設置などバリアフリー化をさらにすすめてください。
- ②車いす利用者から「ホームと電車のドアに段差があり乗降が困難」との声が出ています。また、視力障がい者からは「インターホンの設置箇所もわからない。点字ブロックや音声での案内がない」「点字の案内看板表示してほしい」などの声があります。安心して利用しやすいように改善してください。
- ③転落時の待避場所の設置、ホームでの列車との段差やすきまをなくす安全対策を強化してください。
(沢ノ町駅、我孫子前駅等)

三、踏切・危険箇所における安全対策について。

①踏切拡幅、歩道の設置など自治体からの改良の要望があれば、踏切の幅を広げる、歩道を設置するなど安心して渡れる踏切に改善してください。

※朝夕の通勤・通学時間帯に通行量が多くなり、踏切内で通行が滞ることが多い

(二色浜駅北側・大阪狭山駅1号踏切)

②構内踏切、駅直近の踏切に障害物検知センサーを設置してください。

(沢ノ町駅・我孫子前駅・二色浜駅・九度山駅等)

③全線での立体交差化の計画、進行状況と対策についてお聞かせください。

(諏訪ノ森駅等)

四、利便性の向上について。

①すべての駅のトイレにトイレットペーパーを設置してください。

②駅のトイレの改修をおこなってください。(金剛駅・泉ヶ丘駅・天見駅・紀見峠駅等)

③ホームにベンチを設置・増設してください。(狭山駅・美加の台駅等)

④ホームに待合室を設置してください。(狭山駅等)

⑤券売機を増設してください。(三日市町駅等)

五、地域住民・自治体との協議を実施してください。

2013年に貴社が無人化駅を増加させた際、大阪市、堺市、泉大津市の各議会が国に対して無人化駅問題で「意見書」を提出し、貴社には、美加の台自治連合会、泉大津市松ノ浜自治会、阪南5市3町会連絡協議会、田尻町地区会等から「要望書」「署名」提出されました。和歌山県九度山町では、町長を先頭に議員、住民、近隣他市町などで、3度にわたって貴社への申し入れを行っています。沿線の自治体、住民の願いは切実です。

地方自治体や地域住民との協議は、交通事業をになう企業の責務でもあります。国は、昨年一部改正された『地域公共交通活性化再生法』で、「地方公共団体は、地域公共交通網形成計画の作成及び実施に関し必要な協議を行うための協議会を組織することができます」としています。協議会設置や住民、地方自治体の要望に対して誠実に対応してください。

以上